

# 平成31年度 会計室運営方針

## ◇会計管理者の役割と会計室の業務◇

会計管理者は、地方自治法に基づき、普通地方公共団体の会計事務をつかさどる役割を担います。

会計室は、会計管理者を補助する組織として、支出審査、現金・有価証券・物品の出納及び保管、現金及び財産の記録管理、決算の調製、会計検査等を行います。

会計事務は、全ての政策、全ての所属の仕事に関わる基本的な業務、いわば市政運営のインフラともいうべき業務であり、正確・適正に執行されなければなりません。

会計管理者及び会計室では、「京都市の会計事務が正確かつ適正に行われること」をしっかりと確保する役割を担います。

同時に、「正確さや適正であること」だけを追求するのではなく、「会計事務の正確・適正な執行の確保」によって市政全体を支え、市民生活を支える、その基盤となる業務であるという使命感を持ち、常に会計事務の数字の先にある市政の推進と市民生活の向上を見据えて、より良い会計事務を目指してまいります。

### <会計室の主な業務>

支出命令等の審査

現金、有価証券等の出納及び保管

不用物品の回収、売却

決算の調製

指定金融機関及び収納代理金融機関に関する事務及び検査

出納員、公金収納受託者、物品出納員等に対する検査及び指導



京都市  
CITY OF KYOTO

京都市はSDGsを  
支援しています。



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

## ◇会計室運営方針の総括表◇

基本方針・重点方針					
市政全体を「会計事務の適正な執行の確保」によって支える（使命感を持った業務の遂行）					
平成31年度重点取組					
取組名		目標	計画・条例等	所属等	
支出審査・支払・収納，物品会計事務等の厳正かつ効率的・効果的な執行	1	厳正かつ効率的な事務の執行	事務の適正な執行や点検・見直し	会計規則 物品会計規則	全担当
	2	市全体の会計事務の向上に向けた取組	検査・周知・研修等の実施	会計規則 物品会計規則	
	3	公金の適正な管理運用	安全確実かつ有利な管理運用の推進	公金運営基本方針	出納管理 担当
	4	物品会計事務の効果的な推進と物品の有効活用	所属への周知・指導の実施	物品会計規則	検査指導 担当
指定金融機関制度の効果的な運用及びまちづくりに資する取組の推進	5	指定金融機関の選定	公募型プロポーザルによる選定の実施	〔京都市執行機関の附属機関の設置等に関する条例〕	庶務担当
	6	まちづくりに資する取組の推進	指定金融機関及び関係部局との連携並びに実施状況報告の徴取		

## ◇平成31年度の各重点取組の概要◇

### 【業務全般】

#### 1 市政全体を「会計事務の適正な執行の確保」によって支える（使命感を持った業務の遂行）

会計事務は、行政運営における基礎的な業務であり、法令等に基づき正確かつ適正に執行されなければなりません。同時に、会計室では、「会計事務の正確かつ適正な執行の確保」だけに特化した、狭い業務認識に陥ることなく、

- ① 公金が、市民の皆様から預かった大切な財産であるとの認識の下、市民の利益を第一に適正に執行する、市民生活に資する業務であり、
- ② 適正な執行によって、全ての政策を支え、行財政のレジリエンスを担保する、市政全体に関わる業務である

との認識を共有し、使命感をもって業務を遂行します。



「会計事務の適正な執行の確保」によって、全ての政策を支え、行財政のレジリエンスを担保

【個別事項】

**2 支出審査・支払・収納，物品会計事務等の厳正かつ効率的・効果的な執行**

- ア 審査・支払・収納等の事務の厳正かつ効率的な執行
  - ・ 支出命令等の審査，公金の支払・収納等の事務の，厳正・確実な執行を図ります。
  - ・ 同時に，各所属及び会計室における事務の効率性や合理性を考え，「働き方改革」にも資するよう，事務の点検・見直しを更に進めます。
  - ・ 各種マニュアルの充実，会計検査の実施，庁内メールマガジンの発行(留意事項等の定期的周知)，職員研修の実施等により，市全体の会計事務の向上を図ります。
  - ・ 金融情勢等の把握・分析に基づき，公金の安全確実かつ有利な管理運用を図ります。
- イ 物品会計事務の効果的な推進
  - ・ 物品会計事務の効率的・効果的な推進を図ります。
  - ・ 庁内における物品の再使用の促進，適切な分別排出の徹底・不用物品の売却促進等により，物品の有効活用と廃棄物の減量を図ります。

**3 指定金融機関制度の効果的な運用及びまちづくりに資する取組の推進**

- ・ 公金の安全・確実な取扱い等を担う指定金融機関について，本市では政令指定都市で唯一，公募型プロポーザルにより選定を行っています。そのメリットを最大限に活かし，指定金融機関の効果的な選定と業務の推進を図ります。  
(今年度，次期指定(令和3年～)に向けた選定作業開始予定。)
- ・ 公金の支払・収納等を支え，市政運営(まちづくり)のパートナーとしての役割を担う指定金融機関との連携・協力の下，文化芸術都市・京都の創生や産業振興等，まちづくりに資する取組(同金融機関による市域貢献の取組)を推進します。

◇平成31年度の予算◇

一般会計

【歳入】

【歳出】

項目	予算額	内容
財産収入	30,176	物品売払収入
諸収入	3,524	預金利子等
市債	26,000	総務施設整備費公債
合計	59,700	

(単位：千円)

項目	予算額	内容
公金取扱手数料	6,500	口座振替収納手数料，窓口収納手数料等
会計事務	16,750	会計事務経常経費等
物品センターブロック塀改修	26,150	物品センターブロック塀の改修費用
合計	49,400	

(単位：千円)